

体操教室

千年幼稚園式 体カづくり

千年幼稚園

☎ 099-220-8686

☎ 099-220-8678

✉ sennen8686@yahoo.co.jp

🌐 <https://sennen8686.com>

[対象児]年少・年中・年長

[カリキュラム構成・指導教諭]本園教諭

[保有資格]幼稚園教諭免許状・保育士資格

小学校教諭免許状 他多数

[指導教材]鉄棒・マット・跳び箱・ラバーリング 他

【はじめに】

文部科学省が行っている「体力・運動能力調査」で子どもたちの運動能力の低下が指摘されています。実際に幼児教育の現場におりますと、乳幼児においても、うまく転ぶことができない(手をつくことができず、頭から倒れてしまう)・スキップができない・低い段差に躓いてしまうなど自分の身体を操作する能力が低下している傾向にあることを実感させられています。幼児期の体力の低下は、成長した後もその体に大きな影響を与えると懸念されております。

そこで本園では遊びを中心に体を動かすことを楽しみながら体力づくり、身体づくりを行っていきたくと考えております。その中で本園に求められることは子どもたちが主体的に取り組み、楽しむことのできる環境の提供です。体操教室に携わる職員の指導、使用する道具や教材の確保といった施設整備を行っております。また幼児期は子どもたちの発達にも個人差があるため「個々の発達段階に合わせる」「無理なく楽しめる」「子どもの興味関心のあるものを積極的に取り入れる」ということを基本理念にカリキュラムの構成を行います。達成しなければならないもののハードルが上がってしまうと子どもたちに無理がいてしまい運動する楽しさを感じることができなくなるケースも少なくありません。保護者の皆様とも連携を図りながら子どもたちの身体の育ちに尽力いたします。

【子どもの体力の現状と将来への影響】

- ◇ 子どもの体力・運動能力は、昭和 60 年ごろから現在まで低下傾向が続いている。また、運動する子どもとしない子どもの二極化の傾向が指摘されている。
- ◇ 体を思うとおりに動かす能力の低下が指摘されている。
- ◇ 肥満傾向の子どもの割合が増加しており、高血圧や高脂血症、将来の生活習慣病につながるおそれがある。
- ◇ 体力の低下は、子どもが豊かな人間性や自ら学び自ら考える力といった「生きる力」を身に付ける上で悪影響を及ぼし、創造性、人間性豊かな人材の育成を妨げるなど、社会全体にとっても無視できない問題である。

(参考)中央教育審議会が文部科学大臣から受けた「子どもの体力向上のための総合的な方策について」の諮問(平成13年4月11日)

【幼児教育と小学校教育の円滑な接続の在り方及び幼児期の終わりまでに育ってほしい幼児の具体的な姿】

○健康な心と体

EX)・健康な心と体を育て、幼稚園生活の中で充実感や満足感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせながら取り組み、見通しをもって自ら健康で安全な生活を作り出していけるようになる。

- ・体を動かすさまざまな活動に目標をもって挑戦したり、困難なことにつまずいても気持ちを切り替えて乗り越えようとしたりして、主体的に取り組む。
- ・いろいろな遊びの場面に応じて、体の諸部位を十分に動かす。
- ・健康な生活リズムを通して、自分の健康に対する関心や安全についての構えを身につけ、自分の体を大切にする気持ちをもつ。
- ・衣服の着脱、食事、排泄などの生活に必要な活動の必要性に気付き、自分でする。
- ・集団での生活の流れなどを予測して、準備や片付けも含め、自分たちの活動に、見通しをもって取り組む。

(出典)「4. 幼児期から児童期にかけて求められる教育」文部科学省

【土台作り】

- ① コアキッズ運動やメルヘンスイミングなど他のカリキュラムと並行して相乗効果を得られるプログラムを計画する。
- ② 集団リズム(リトミック)やつよい子運動など日々の活動の中で体を動かす喜びや楽しさを感じる。
- ③ なかよしクラブの運動カリキュラム(サッカー・ダンス)でも体操教室同様体幹づくりを行う。

【3つの柱】

- ① 準備運動…筋肉や関節をほぐし、大きなけががないようしっかりとストレッチを行います。
- ② 器械体操…マット運動・跳び箱・平均台・鉄棒などといった器械運動を行います。使用する道具はすべて幼児が使用することに特化した製品で安心して使用いただけます。
- ③ ルールのある運動…ルールをしっかりと理解し仲間と協力することで、「知」「徳」「体」を連動した活動を行います。

